

平成25年度

埋蔵文化財調査士補

資格試験 筆記問題答案用紙 (Ⅱ小論文)

受験番号	氏名	Ⅱ
B-		

試験日：平成25年8月24日(土)

東京会場：東京御茶ノ水「連合会館」

大阪会場：大阪「大阪ガーデンパレス」

公益社団法人
 日本文化財保護協会

問2 発掘調査で竪穴住居跡などの遺構全景を高い位置から撮影する場合、必要な準備や留意点を5項目挙げなさい。

【解答例】

- ① 広角レンズの使用を極力避け、標準レンズを用いて適切な撮影範囲と撮影角度を求める。
- ② 標準レンズで適切な撮影範囲と角度が得られる距離と高さが得られる位置に櫓（タワー）を設置する。
- ③ 櫓の上での撮影は危険防止に配慮し、しっかりした足場に三脚を用いて撮影を行う。
- ④ 陰影が乏しくなるので、極力順光線状態の撮影となるのを避ける。
- ⑤ 陰影が明瞭となる薄日や快晴下で撮影する。曇天下の撮影は陰影が弱すぎて遠近感（立体感）に乏しくなるので極力避ける。
- ⑥ 季節によって太陽光の位置や日照時間が異なる。遺構の陰影が撮影に適する時間帯を選んで撮影する。
- ⑦ 太陽が真上にある時刻で順光線状態の撮影は、撮影者や機材の影が遺構に出るので避ける。
- ⑧ 撮影の前には、写真に写る範囲にある邪魔なもの（発掘用具、足跡、表土の上に堆積した掘り出された土など）を除去する。

* 以上の準備や留意点から5項目以上が列記されていれば可。

100 (字)

200

300

400

